

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【公開番号】特開2015-78923(P2015-78923A)

【公開日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-027

【出願番号】特願2013-216601(P2013-216601)

【国際特許分類】

**G 01 N 35/02 (2006.01)**

【F I】

G 01 N	35/02	H
G 01 N	35/02	G

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月27日(2016.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

分析対象である検体を収容する検体容器と、

前記検体容器に収容された検体を分析可能な状態とする前処理を行う前処理機構と、

前記検体の分析を行う複数の分析装置のそれぞれに搭載された試薬の種類に関する情報を少なくとも含む試薬架設情報を記憶する試薬架設情報記憶部と、

前記試薬架設情報に基づいて、前記複数の分析装置において分析可能な分析項目をそれぞれ判定する分析項目判定部と、

前記検体に対して設定された検査項目のうち緊急性の高い検査項目として緊急指定された検査項目が少なくとも2つ以上の前記分析装置に跨っている場合、前記分析装置のそれに対応して前記検体を子検体容器に分注するように分注指示を作成する分注指示作成部と、

前記前処理機構で前処理を施された検体を、前記分注指示に従って前記検体容器から子検体容器に分注する検体分注機構と、

前記子検体容器を前記分析装置に搬送する搬送機構を制御するための搬送指示であって、前記複数の子検体容器をそれぞれ対応する前記分析装置に搬送するように搬送指示を作成する搬送指示作成部と

を備えたことを特徴とする検体前処理装置。

【請求項2】

請求項1記載の検体前処理装置において、

前記検体容器に収容された検体の量を検出する検体量測定部と、

前記検体に対して設定された検査項目の実施に必要な検体量を記憶する検査項目記憶部とを備え、

前記分注指示作成部は、前記子検体容器への分注量が前記検体の量を超えないように分注指示を作成することを特徴とする検体前処理装置。

【請求項3】

請求項1記載の検体前処理装置と、

前記検体容器から前記子検体容器に分注された前記検体の分析を行う複数の分析装置と、

、

前記検体前処理装置から前記分析装置への前記子検体容器の搬送を行う搬送機構とを備えたことを特徴とする検体検査自動分析システム。

【請求項 4】

請求項 3 記載の検体検査自動分析システムにおいて、

前記搬送機構により前記分析装置から搬送されてきた前記子検体容器を収納して分析装置に搬入する前に待機させる容器待機バッファ機構と、

緊急指定情報設定部による緊急指定に基づいて、前記容器待機バッファ機構から搬出して前記分析装置に搬入する前記子検体容器の順序を入れ替えるバッファ機構制御部とを備えたことを特徴とする検体検査自動分析システム。